

暮らしの中で受け継がれてきた
ものづくり「生活工芸」

生活工芸館

雪国の手仕事を楽しむ

桐の里
会津三島町



年間スケジュール

- 6月 | ふるさと会津工人まつり
第2日曜の属する土、日
- 10月 | 会津の編み組工芸品展
中旬
- 3月 | 全国編み組工芸品展
三島町生活工芸品展
中旬
- 年間ヒロロ教室
- 1~2月 | ものづくり教室



詳しくは生活工芸館まで
お問い合わせ下さい。

交通のご案内



生活工芸館までの距離	新潟から	128km	
東京から	321km	郡山から	100km
仙台から	176km	会津若松から	39km



■営業時間 / 9:00~17:00 ■入館料 / 無料(体験料は別途頂きます。)
■休館日 / 月曜、祝日の翌日、年末年始 ※臨時休館がございますので、ご来観の際はご確認ください。

三島町生活工芸館

〒969-7402福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上395
TEL.0241-48-5502 FAX.0241-52-2175
<http://www.okuaizu-amikumi.jp/>
E-mail kougekan@town.mishima.fukushima.jp

三島町生活工芸憲章

- 一、家族や隣人が車座を組んで
- 一、身近な素材を用い
- 一、祖父の代から伝わる技術を活かし
- 一、生活の用から生まれる
- 一、いつわりのない本当のものを
- 一、みんなの生活のなかで使えるものを
- 一、生きる喜びの表現として
- 一、真心をこめてつくり
- 一、それを生活のなかで活用し
- 一、みずからの手で生活空間を構成する

(昭和五十六年四月制定)



奥会津とは

豪雪地帯だからこそ
伝承された技

特に奥会津編み組細工は平成15年に国の伝統的工芸品に指定され、その歴史は縄文時代まで遡ることができます。
囲炉裏端で親から子へと伝えられた暮らしの技術は今、奥会津の編み組の産地へと生まれ変わり多くのファンを魅了しています。

季節が冬へと変わり、周りが雪景色になると、農作業を終えた人々は、ものづくりが始まります。自然からいただいた素材を用いて自らの手で民具を生み出す文化が三島では脈々と受け継がれています。

国指定伝統的工芸品

奥会津編み組細工

奥会津に受け継がれた
伝統の「技」



マタタビ細工

水切れが良く、しなやかな手触りの
笊は野菜を洗ったり、米をといだり
する台所用品として使われてきまし
た。編み終わると「寒晒し」するこ
とで強度をまします。

山ブドウ細工

山中での厳しい作業に耐える丈夫な籠
としてつくられてきました。山ブドウの
皮を材料とし、とても丈夫なので長く愛
用していただけます。



ヒロロ細工

野山で採取されたヒロロ(和名:ミヤマカ
ンスゲ・オクノカンスゲ)を縄にしてつく
られ、独特の繊細さがあります。

生活工芸館では常時展示販売をしております。

生活工芸館
ものづくり
体験

三島町生活工芸館では
指導員による各種ものづくりの
体験が出来ます。

編み組体験

ヒロロコースター…………… 700円

山ブドウストラップ…………… 700円



(ヒロロ(カンスゲ)を縄にして
コースターを作ります。
(所要時間/1時間~2時間)



体験教室

体験教室を通して、
人と人とのふれあいや
教養を身につけ、
ものづくりへの興味、
関心を深めます。

ご家族や学年行事、
子ども会にどうぞ。

※5名様以上の体験要予約

木工体験

桐トンボ…………… 600円

ペン立て・はし立て…………… 700円

パッチ・キーホルダー…………… 500円

マイはし…………… 600円

バターナイフ…………… 800円



三島町の特産の会津桐を使ったものづくりが
楽しく体験できます。
(所要時間/1時間~3時間)

生活工芸館
イベント
MUSHIMA AOHARUMI
EVENT



ふるさと会津工人まつり

6月

「作る手から使う手へ」全国から工人(こうじん)
のぬくもりある手作り工芸品を展示即売。(編み
組細工・木工品・皮細工・漆器・染織物等)



全国編み組工芸品展 3月
会津の編み組工芸品展 10月

三島町
生活工芸品展 3月

竹や蔓、草、樹皮等の自然素材を材料
とした編み組工芸品が集まります。

町民の方がつくった工芸品が一堂
に集まりコンクールが行われます。